

令和 7 年度 わくわく岩淵ひろばクラブ安全計画

1. 安全点検

(1) 施設・設備の安全点検

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点 点検箇所	備品	室内設備	避難経路	室内遊具	屋外遊具	ガス・電気・ 火気器具
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点 点検箇所	備品 室内機 室外機	室内設備	避難経路	室内遊具	野外遊具 室内機 室外機	ガス・電気・ 火気器具

(専用区画以外の場所についても定期的に使用する場合は実施を検討すること)

(2) マニュアル(指針)の策定・共有

分野	策定期期	見直し(再点検) 予定時期	掲示・管理場所
事故防止マニュアル(指針)	平成 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	・書庫 ・アクシデント管理基準について職員デスクスペースに掲示
防災マニュアル	平成 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	・書庫 ・災害時の各職員担当については日々の職員配置表にて周知
救急対応時マニュアル(指針)	平成 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	・書庫 ・緊急時対応フローは電話付近に掲示
防犯(不審者対応)マニュアル(指針)	平成 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	書庫
感染症対応マニュアル(指針)	平成 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	書庫
おやつ・食事	平成 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	・書庫 ・アレルギー対応一覧を台所に掲示
施設外での活動	令和 17 年 8 月	令和 7 年 5 月	・書庫 ・屋外での各職員担当は日々の職員配置表にて周知 ・校庭の職員見守り配置図を職員掲示板に掲示
バス送迎 (実施している場合のみ)	令和 年 月	令和 年 月	
降雪 (必要に応じ策定)	令和 年 月	令和 年 月	

※110 番、119 番対応を含む

2. 児童・保護者に対する安全教育等

(1) 児童への安全教育

	4～8月	9～12月	1～3月
1年生	・通学路を正しく歩く ・登室/退室時の約束を守る	安全な遊び方のルールを守る	怪我をしやすい時間と場所を確認する
2年生	登室/退室時の約束を確認する	安全な遊び方を実践する	身の回りの危険について学ぶ
3年生	自らの安全を守る行動について学ぶ	自らの安全を守る行動を習得する	防災・防犯に対する意識を高める取り組みを行う
4年生以上	自らの安全を守る行動について学ぶ	自らの安全を守る行動を習得する	防災・防犯に対する意識を高める取り組みを行う

(2) 保護者への周知・共有

4～8月	9～12月	1～3月
・児童と一緒に通学路の安全確認を行うよう呼びかける。	・児童と一緒に交通安全、不審者対応について確認するよう呼びかける。	・児童と一緒に安全上のルールやマナーが守られているか確認する機会を設けてもらう。

3. 訓練・研修

(1) 避難訓練等

設備運営基準第6条第2項の規定に基づき定期的に実施する避難及び消火に対する訓練

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
テーマ 取組	避難訓練についての心構え(導入)	地震訓練	水害訓練	地震訓練(復習・実践)	火災訓練	火災訓練(復習・実践)
参加 予定者	児童 職員	児童 職員	児童 職員	児童 職員	児童 職員	児童 職員
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テーマ 取組	不審者対応訓練	Jアラート訓練	地震訓練	通報訓練	火災訓練	地震訓練
参加 予定者	児童 職員	児童 職員	児童 職員	児童 職員	児童 職員	児童 職員

(2) その他訓練

訓練内容	実施予定時期 (時期と回数を記載)	参加予定者
119 番通報訓練	CPR 訓練と合わせて原則 毎月 1 回実施	職員
救急対応(心肺蘇生法、気道内異物除去、 AED・エピペンの使用等)	毎月 1 回実施の CPR 訓練 内で順次実施	職員
不審者対応訓練(110 番通報訓練等)	10月/1回	児童、職員
来所・帰宅時における非常時対応訓練	7月/1回	児童、職員
その他 (送迎バスにおける見落とし防止等)	6月(水害訓練)/1回	児童、職員

(3) 職員への研修・講習

4～8月	9～12月	1～3月
・心肺蘇生法 ・夏休み前の安全点検・熱中症対策について	・不審者対応について ・緊急時の対応、役割について	今年度発生事例についての対策の振り返り

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール

・熱中症・応急手当・食物アレルギー等への対応について順次実施予定
--

※所属する自治体や児童が通う学校が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加用途にかかわらず記載する

4. 再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析の方法等）

自施設発生事例と共に他施設で発生した事例についての情報も全職員で共有。全体 MTG にて自施設の環境にあてはめ事例検討を行う。その上で必要な対策を講じ、適宜実施状況の確認及び見直しを図る。
--